

■アジア・アジアパラ競技大会へ

アジア・アジアパラ競技大会関係事業に活用して頂くように稲沢市へ稲沢ライオンズクラブから寄付を行いました。当日は稲沢市側から加藤市長並びに渡辺教育長他ご出席を頂き、稲沢ライオンズクラブからは佐藤前会長、長屋宗正会長、鈴木が出席しました。稲沢ではハンドボール競技が行われるほか、9月5日にはJR 稲沢駅周辺でSKEのチームKIIリーダー伊藤実希さんなどがランナーを務める聖火リレーも行われます。



佐藤 2025 会長 長屋 2026 会長 加藤市長 L 鈴木純 SKE チーム KII リーダー伊藤実希さん(HP より) 稲沢駅周辺のルート

■トピックス

●第71回愛知県消防操法大会

稲沢市消防操法大会3連覇を果たした第一分団(西村崇弘分団長 稲沢市民センター地区)が各分団にも支えて頂き県大会に出場し優秀な成績を収めました。小林敦2番員・三谷歩武3番員は優秀選手賞を獲得!稲沢市の代表として3か月間にわたる厳しい訓練の成果を遺憾なく発揮してくれました。



●稲沢市障害者スポレク大会

稲沢市障害者福祉団体連合会(久納政英会長)はじめ関係者、ボランティアの皆様のご尽力によりスポーツレクリエーション大会が開催され、交流を深め心と体の健康づくりを進める大会意義やアジアパラ競技大会、水防・防災訓練から直接出席したため災害時の地域共助型支援体制などに触れ祝辞を述べました。



●稲沢市シティアテンダント

R8年度稲沢市シティアテンダントの皆さんは左から趣味は食べること?2回目の井坂美穂(いさかみほ)さん、麻雀・カラオケ・社交ダンス・食べること?と多趣味な2回の日野原真由(ひのほらまゆ)さん、趣味はピアノ・バイオリン?深見真衣(ふかみまい)さんと多彩な顔ぶれで一年間のPR活動に期待大です。



●連合愛知尾張南地協街宣

尾張南地協(代表:豊田合成労組後藤委員長)の街頭宣伝活動が国府宮駅で行われ星野市議、木全議長、岡野市議と参加、テーマはカスハラ防止のため事業主への義務化など国の法律の改正もありハラスメント関係のご理解とご協力に向け実施されました。



●防火危険物安全協会創立60周年

昭和41年(1966年)に発足した協会(現会長:渡川謙治豊田合成稲沢工場長)の記念式典が挙行され、歴代会長はじめ役員・会員企業事業所各位が防火・安全管理体制を確立し60年の長きにわたり産業経済活動と地域の安全安心を両立してこられたことに感謝です。



●コミュニティーバス

稲沢市のコミュニティーバスにすてっぷ動物病院の楽しいPRロゴを掲載(有料)、運行ルートは祖父江・稲沢線の地泉院系統 ■ 主なバス停は市民病院⇨国府宮駅⇨本郷⇨市役所⇨ヨシヅヤ⇨アピタ⇨明治市民センター⇨森上駅⇨稲沢厚生病院⇨祖父江支所⇨祖父江の森⇨祖父江生涯学習センター⇨地泉院です。



愛知県議会報告 J-PRESS

あいち民主県議団

責任者:鈴木純 名古屋市中区三の丸1-2
代表電話 052-961-2111 FAX052-961-3766

愛知県議会報告はあいち民主県議団及び議員に交付されている政務活動費を充当して作成・配布しています。県政へのご意見をお寄せください。

稲沢市人口 12万9,885人 13万人切る

2025 国勢調査速報値

7月2日に閉会した愛知県議会6月定例会では、当初提出の一般会計58億8千6百万余円の補正に加え、重点支援地方交付金(23億円)を活用した36億1千万余円の追加補正、計94億9千7百万余円の一般会計補正予算等をはじめ、地方税法の一部改正(災害ハザードエリア内の新築住宅等の特例除外)や愛知県カスタマーハラスメント防止条例などの一部改正、人事案件などを可決しました。

一般会計の補正は元県立常滑高校敷地に整備する**県美術品等共同収蔵庫**に165.87億円の債務負担行為、デザインビルド方式とPFI方式に変更する**新がんセンターの整備**に0.99億円(県立病院事業会計)、食材費高騰に対する子ども食堂への支援0.33億円、価格高騰する**LPガスの消費者負担の軽減**8.22億円、物価高騰に対する**学校給食費等の保護者負担の軽減**2.57億円、同社会

福祉施設支援14.01億円、同医療機関支援1.66億円、酒米価格高騰への酒蔵支援1.38億円、中東・米国関税・物価高騰対応枠による**中小企業の資金繰り支援の強化**に債務負担行為53.35億円等です。

次の定例会は8月27日開会(11月9日閉会)の9月ではなく8月議会です。



木曽川うかい2026開幕

～乗船場は名鉄犬山遊園駅から徒歩3分 10月15日まで
水野鶴匠の巧みな手縄捌き

稲山鶴匠 犬山観光学生大使の皆さん

あいち民主県議団 YouTube となりの県議さんに鈴木純登場



見てね

五期目最終年も未来へつづきちづくりへ一生懸命働きます。
所属します。
(副委員長)にも
査特別委員会
き議員定数等調
昨年度に引き続
また、名古屋港管理組合議会(常務委員)、倫理審査会、都市計画審議会(常務委員)も視察に、食育推進や農業・園芸・畜産・水産などの各課を所掌する農業水産局、並びに土地改良などの農地部や林業関係等を所掌する農林基盤局を所管します。

愛知・名古屋2026大会

議員は8常任委員会総務企画、県民環境、福祉医療、経済労働、農林水産、建設、教育・スポーツ、警察、稲沢市議会では総務、文教厚生、経済建設の3委員会の一つに必ず所属しますが鈴木は5回目となる**農林水産委員会委員**(理事)に選任されました。本県は農業産出額が3千億円ほどの全国の第3グループに位置する農業県でもあります。委員会はIT化やスタートアップも視野に、食育推進や農業・園芸・畜産・水産などの各課を所掌する農業水産局、並びに土地改良などの農地部や林業関係等を所掌する農林基盤局を所管します。

愛知県議会議員
(稲沢市選出)

SUZUKI

すずき純



■愛知県議会議員派遣青森県調査

【埋蔵文化財】

愛知県では東海地方最大の弥生集落である朝日遺跡(史跡貝殻山貝塚(清州))の重要文化財等の保存活用を図るなどを目的に「あいち朝日遺跡ミュージアム」を2020年に開館しました。三内丸山遺跡と小牧野遺跡は世界文化遺産の北海道・北東北の縄文文化遺跡群の一つで管理運営や活用促進などを聴取しました。

三内丸山遺跡センターでは多言語対応や高校生以下無料、冬季の野外施設閉鎖時の縄文冬祭りなどの無料開放、第50次に及ぶ発掘調査・研究の取組を、廃小学校をリニューアルした**小牧野遺跡保護センター縄文の学び舎・小牧野館**では直径55mに及ぶ環状列石の冬季の保護や体験型イベント、県条例及び緩衝地帯と住民説明等を伺いました。稲沢市では矢合町にある尾張国分寺跡が国史跡に指定され尾張国分寺跡史跡保存整備基本構想等が策定されています。

【市立・県立病院の統合】



稲沢市民病院より少し多い350床で医療圏の中核病院である**青森市民病院**でも19億円ほどの財政赤字を抱え病床利用率も50%ほどで人口減少も見据えた中で令和3年度から基幹病院である**青森県立中央病院**とのあり方について検討をはじめています。令和7年3月には「共同経営・統合新病院に係る基本計画」を県・市で策定、現在は両病院の中間地点に経営統合した企業団として令和14年10月を目標に700床程度の新病院を建設する計画とし、医療従事者の需給動向や労働環境等の職員の意向なども確認しつつ中期的な展望としては地方独立行政法人(非公務員型)への移行も見据えています。また、中学生以下の入院患者に対する付き添い食(宿泊も可能)の実費提供などの取組を聴取しました。

■名古屋港管理組合議会6月定例会

定例会では正副議長等の人事案件のほか水族館の改修計画見直しについて等の質問も行われました。鈴木は港営建設委員会及び名古屋港ポートアイランド特別委員会に所属します。名古屋港は1907年(M40)に開港し4市1村(名古屋、東海、知多、弥富、飛鳥)にわたる広大な陸域(84,301万㎡で日本最大規模)と水域(8,167万㎡)を有し世界約160の国・地域と結ばれています。2025年の港勢は総取扱貨物量1億5,938万トンで24年連続日本一、貿易額24兆887億円(全国2位)、外貨コンテナ取扱個数264万TEU(3位)です。

■いなざわ特別支援学校校舎増築



2014年に開校した当時は267人48学級でしたが現在は347人60学級と子ども達が増えたため新校舎を増築しました。20教室と職員室等で高等部が入りますが、子ども達はスクールバスや上丸渚駅等を利用し登校しています。



大型掘立柱建物(復元 三内丸山遺跡)



ストーンサークル(小牧野遺跡)

稲沢市民病院より少し多い350床で医療圏の中核病院である**青森市民病院**でも19億円ほどの財政赤字を抱え病床利用率も50%ほどで人口減少も見据えた中で令和3年度から基幹病院である**青森県立中央病院**とのあり方について検討をはじめています。令和7年3月には「共同経営・統合新病院に係る基本計画」を県・市で策定、現在は両病院の中間地点に経営統合した企業団として令和14年10月を目標に700床程度の新病院を建設する計画とし、医療従事者の需給動向や労働環境等の職員の意向なども確認しつつ中期的な展望としては地方独立行政法人(非公務員型)への移行も見据えています。また、中学生以下の入院患者に対する付き添い食(宿泊も可能)の実費提供などの取組を聴取しました。

【ガーデンふ頭】 アジア・アジアパラ競技大会への対応 【金城ふ頭】



●介助犬候補犬が県議会傍聴に？

介助犬グラディスと介助犬候補犬のピトが議会傍聴席に来てくれました。ご主人の車椅子の横で、ピトは最初進行係の「議長〜！」の大きな声に顔を上げて周りを確認しましたが、おとなしく議会が閉会するまで立派に役目を果たしました。児童及び乳幼児が傍聴席に入るには議長の許可が必要でしたが規則の一部改正により許可不要とするなど皆様に傍聴しやすい開かれた議会への取組を進めています。

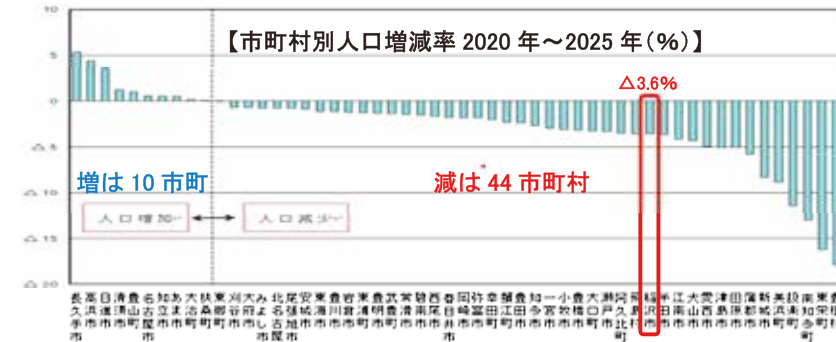


グラディス ピト

■愛知県人口減少…2025 国勢調査速報値

日本の人口は2010年をピークに3期連続減少、2025年と前回2020年比では減少率は2.5%。東京と沖縄を除き**今回減少に転じた愛知、埼玉、千葉、神奈川、滋賀、福岡**など45道府県で減少、減少率最大は秋田8.1%で次が青森7.9%です。東京都の人口は1,400万人で1位、以下神奈川920万、大阪870万、愛知(4位変わらず)、埼玉730万、千葉630万、兵庫、福岡、北海道が500万台、静岡300万台の順です。千葉、埼玉、東京、神奈川の首都圏人口が占める割合が初めて3割を超え一極集中が進んでいます。

愛知県の人口は745万人を切り744万9403人、前回比9万3012人、1.2%の減、市町村別では、長久手5.4%、高浜4.4%、日進3.5%、清須、豊山、名古屋、知立、あま、大治、扶桑の10市町が増で



稲沢始め44市町村で減少、豊根、東栄、南知多、設楽は減少率が10%を超えます。

(現状の県の人口問題対策市町村は岡崎市、豊田市、西尾市、新城市、田原市、愛西市、南知多町、美浜町、設楽町、東栄町、豊根村)

稲沢市の人口は13万人を切り12万9,885人、前回比4866人、3.6%の減、人口規模は54市町村中上位から12番目(10万以上の市は15市)、一方減少率は下位から14番目でした。



■牛のげっぷ由来のメタンガス削減へ

去年のJA愛知西祖父江ぎんなんブランド部会の総会で県の取組を紹介しましたが、**農林水産委員会**の一般質問で実証試験やギンナン果肉の調達などについて今年度の県の取組を質しました。今回はその牛のげっぷ由来のメタンガス(CH₄)削減に向けた測定器等の設備完成に伴う報道機関向けの内覧会がありました。本県は畜産も中部地方で一番でありCN牛乳などCH₄の削減は温暖化対策で重要です。

※CH₄は二酸化炭素の約28倍の温室効果があり、牛が胃の中で牧草や穀物を微生物に発酵させて消化する過程でCH₄が副産物として発生し、げっぷとして大気中に放出(体重600キログラムの成牛の場合、1頭で1日に300から600ℓ CH₄全排出量の約27%)されます。

試験研究では牛のげっぷ由来のCH₄を削減する飼料等を開発するため、農業総合試験場内の乳牛舎にメタンガス測定器等を整備し本格的に試験研究を開始します。知事は説明の中で飼料等の開発には愛知特産の**稲沢・祖父江のギンナン**の処分される果肉部分が利用されることに期待している旨を発言頂きました。



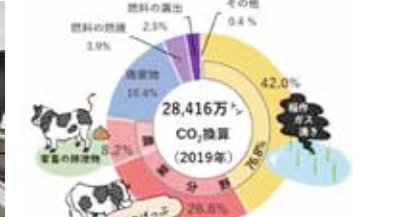
●議員の見学は正副委員長と鈴木ほか1名



●熱心な記者の質問に答える牛衣装の知事



●搾乳しながら飼料を食べて出るげっぷを分析



■愛知県への稲沢市総合要望会



夫馬所長 西川局長 加藤市長 多田局長 SUZUKI



令和8年度稲沢市総合要望会が行われ、愛知県からは西川建設局長並びに多田都市・交通局長はじめ幹部職員、夫馬一宮建設事務所長が出席。加藤市長の挨拶に続き鈴木から一宮西港道路の早期事業化や祖父江稲沢線の整備促進、また三宅川及び福田川の整備促進等について、合併当時の新市の建設計画や遡ること20年前の県議会議員初当選時の一般質問の話などを交えて地元県議を

代表して挨拶しました。表紙には鈴木も提案していた国府宮駅のペデストリアンデッキ(高架による歩行者専用通路・広場)がイラストに！実現は？